

企画観光課長 昭和四十九年度に麻生町の将来の希望的比重の大きいものから構想を作ってきましたが、高度成長時代から安定成長時代、省エネ時代、経済低成長時代と時代が移り思つたように推進出来なかつたのは事実です。審議会の各層の意見をじゅうぶん反映させた実行可能な構想計画を立案して行きたいと考えています。

A議員 既成の枠で縛られて実行出来ないものが多いため必ず実行出来るプランを重点的に考えて欲しい。必要とあれば公聴会的なものを開いて全体的な意見を網羅した振興計画で、町民とのコンセンサスのとれた、財政の裏付けのある振興計画を立案していただきたいと思うが、どうか。

企画観光課長 線引きをした当時は地域座談会等を開いて町民の意見を聞いて計画した訳ですが、社会の変化で局部的に現在の時代にマッチしない点があれば、町民とうぶん話し合つて納得の行くところで実施して行きたい

町長 振興計画審議会のみなさんのご協力で基本構想を立案しましたが、見直す時期が来ていますのでじゅうぶんに皆様方の意見を聞いて見直して行きたいと考えています。

A議員 長期的な視野と展望から立案された企画が財源が無いから出来ないと言う事は有ると思うが、現在行われている上水道工事で、一戸当たり十万円の受益者負担となつてゐるが、これは受益者にとって過酷であると思うがどうか。また、地域住民との話し合いはどうなつてゐるか、企画観光課長 地域説明会の時に住民のみなさんと話し合つております。確かにた

いへんであると思いま戸当たり十万円位の負担で、いただいて工事を進みたいと考えております。A議員 現在、本をしていますが、聞くによりますと本管から一の所まで持つて來たるの所から一つの蛇の工事の受益者負担がと聞いております。何を引く場合は、別に工事要だと聞いているが、要だと聞いています。企画観光課長 各位、ただく十万円は本管水器までの工事負担金量水器から家庭内の蛇は何か所引いてもすべ負担である。一ヵ所に一万五千円から二万円であると思ひます。

トを立案して推進する。その負担はならないよ
うに細かい法について三番目であります。
事業計画課から来ます。それは、翌年から
事業計画課で実行する。それからながら事業
です。A議員の意見を聞きたいと思います。
私は、町長の意見を聞きたいと思います。
町長は、現状の予算と前年対比であります。
町づくりに組み変化がかかるからです。
これからなるところをどうぞお聞かせ願
いります。A議員の意見を聞きたいと思います。
予算を組み立てるにあたっては、現状の予
算は考慮されない時間が長いのです。
國が赤字で、来年度の予算は、財源がど
うなっています。

アロジエクター上で、受取り過酷に取り扱うべき問題の決定の方針を立てる。町会型プロジェクトは、必ずしもそつと議論をいたがう。月ごろに各事業計画を立て、協議して、規模を踏まえ、詳細な書類を作成して提出する。しかし、合わせて決める計画は、中で考へて、金とのかかわりを調整していく。その姿勢とし、万針を重視することもある。それは、住みよの努力していかなければ、やがて来るところへんの、お考えか。年対比のマーカー検討して、県の補助金等は考ええたが、それらは、必ずしもそつと議論をいたがう。月ごろに各事業計画を立て、協議して、規模を踏まえ、詳細な書類を作成して提出する。

A議 再編討したいたるの日、經濟が経済問題に對する考へ方を全般に示すものである。この議論は、主として、(1)再編討の問題、(2)再編討の実施問題、(3)再編討の目的問題、(4)再編討の方法問題、(5)再編討の結果問題等の五つに分類される。

最後に水田についてお話しします。その占いも毎年頭を悩ます。今後どのくらいで行くつたいたい。年・今年の組み方に詳細な報告書が届きます。その占いも毎年頭を悩ます。今後どのくらいで行くつたいたい。

内閣は、昭和二年三月に、大蔵省の主導で、農業生産促進法を制定し、これが、農業生産の活性化に大きな影響を与えた。この法律により、農地改良、機械化、肥料の使用、病害虫の防除等の技術的指導が行われた。また、農業生産のための融資制度も整備され、農業生産の資金供給が容易になった。

一般質問

の折れたと
農家組合員
し、推進委
稻作農業
書で何回
達成出来た
度も同じよ
る度にお願
が、結果は
へ向けて、
きたい。
貢さんの方
て、目標を
したこと、
ます。
農林省の農
長、課長と
現在の國
であり、農
がもつと幸
よう農政改
強くお願い
再編対策事
については、
えて行かね
考えており
いたい。
相作農家の
お願ひすこ
つぶんにな
を時間を使
スを取り合
めた疑問点
者が馬鹿な
を時間を使
たきたい。
水田利用更
予算の中に
成した場合
金を交付す
算措置が一
万円の上乗
が、三千二
いてお尋ね
農家組合
成した場合
す。農家組合
米なかつか
も含めて、
考慮する。

田畠を整備して、耕作地の面積を増加させることで、生産性を向上させることができます。また、灌漑設備の整備により、乾燥による作物の成長阻害が緩和され、収量が安定する可能性があります。

議員 B が達成出来たと思う。この意味は互いに助け合って一〇〇%達成しない。
議員 B が達成出来たと思う。この意味は互いに助け合って一〇〇%達成しない。
議員 B が達成出来たと思う。この意味は互いに助け合って一〇〇%達成しない。
議員 B が達成出来たと思う。この意味は互いに助け合って一〇〇%達成しない。

・三%の組合で成した場合が、その組合はなかつたが、それがされないのか、組合が合わつて、組合になつて、組合達成の〇%達成を以て、法として付せざる報告会の開催をいたい。

町民グローバル施設として、サッカーフィールド、野球場二面、石庫、便所併用出来、その他自由コート、トランポリン、土地の面積六面、私有地の面積六面、業の一環であるので、昭和五

から着町長して二町返りが私有地は入つて今年中B議員の建設は、ぜんぶ教育局は、いるが、いろいろの在の建設とい。B議員四町八丁で交換する。では交換のへんとい。町長た土地の市場になさういき換する。では交換のへんとい。B議員は、ゴルフ場や維持管理をお願いして町長てはどうぞ私有地を買収するマニアをいう事で、総務課ある八町などこゴルフ場歩と、とかを買足りないゴルフ場政を考えく訳ですC議員

上したい。ゴルフ、町七反歩、四町八反歩が三町歩に買収する計画の中に現れているか。貢長、体操の必要で財政面の事情も設計画には

と考へてい
ノ場貸付地
ある。この
有りますの
る予定です
歩程になり
に体育館建
育館につい
めると考
の絡みや、
るので、
は入れて
ルフ場より
いては、十
その分の
まだそこ
ないのか、
をお聞き
る。

、この工
留のため
漁船を
先日の台
クの構造
中の船舶
あります
水が引き
が急な完全
償につい
出中の船舶
発公団に
い。
ドックの
すぐに公
害船舶に
害である
いて、結
渉したい
ませんの
します。
た場合
補償をし
尋ねてお
被害の調
仮ドック
時に公団
に連絡を
防工事や
害が出て
欲しいと
た。
絡で、現
て調査が
引いてか
対応する
お、新宮
地盤の中
ましたの
クであり
強固なも
努力し、
ックを完
がありま
水量が正
査をお願
修理と損
し実現し
い申し上

〈水田利用再編対策事業実施総括表〉

地区名	配分面積	実施面積	%	備考
麻生	4,602 ^a	4,871 ^a	105.8	
太田	3,149	3,271	103.8	
大和	15,385	16,097	104.6	
行方	3,456	2,492	72.1	
小高	5,161	5,412	104.8	
総合計	31,753	32,143	101.3	町村委託配分面積 31,730

(5) 小高地区

農家組合名	%
島並上1	110.4
ノ2	97.8
ノ3	81.6
ノ4	117.1
島並下1	106.8
ノ2	81.7
ノ3	61.9
ノ4	53.5
南下	50.5
南上	62.2
南2	56.3
南3	68.8
元方東	154.5
ノ中	101.1
ノ西	102.5
橋門車地1	102.6
ノ2	70.2
橋門2	112.6
ノ3	134.5
橋門道木	107.1
内宿1	109.2
ノ2	107.6
根堀	117.8
宿	123.3
谷1	112.6
ノ2	107.2
ノ3	175.9
ノ東	110.3
ノ中	101.9
ノ西	100.0
井貝東1	197.3
ノ西1	155.0
ノ2	112.5
繕沢前1	127.8
ノ後1	113.3
繕沢更生2	100.0
繕沢東1	176.1
ノ東2	138.9

(4) 行方地区

農家組合名	%
於下1	32.7
ノ2	64.9
ノ3	30.0
ノ4	57.4
今宿1	79.3
ノ2	60.6
ノ3	74.1
行方1	49.0
ノ東2	63.2
ノ西2	46.7
ノ3	72.3
ノ4	70.5
ノ東5	35.7
ノ西5	94.0
ノ6	31.8
藤井久保1	76.5
ノ2	105.9
船子1	93.2
ノ2	82.3
五町田1	91.7
ノ2	78.5
ノ3	102.3
ノ4	80.8
ノ5	87.8
ノ6	106.9

昭和五十七年度の水田利用再編対策事業(転作・青刈り等)につきまして、町民の皆様のご理解あるご協力をいたしました。また、町の目標面積三百十七ヘクタールを四・二ヘクタール上回る三百二十一・五ヘクタール(一〇一・三%)の実績を達成することができました。稻作農家の皆様に厚くお礼申しあげます。また、督励や現地確認等にご協力いただきました議会議員、農業委員、推進委員、評価委員、評価申込申しあげます。

本年度は、町總ぐるみで事業に取り組み、農家組合ごと

に連帶性をもつて、それぞれ

配分面積に達成するようご協

力いたしました。

この事業は、国の農業施策

として実施されますので、今

後共、特段のご協力をお願

いいたします。各地区、各農

家組合別実績状況をご報

告申しあげます。

〈農家組合別実績表〉

(1) 麻生地区

農家組合名	%
中台1	151.5
中台2	119.0
東	148.5
下宿	149.7
仲浜	104.1
上宿	114.3
生合	199.1
西浜	186.5
粗毛1	74.3
粗毛2	82.0
玄通1	67.7
玄通2	67.2
東蒲繩	68.8
西蒲繩	46.1
岡蒲繩	54.9
古宿東	123.1
古宿中	113.2
古宿西	102.3
新田	169.7
城下	59.3
宿上	51.0
宿下	125.0
横町	100.0
下渕	46.8
田町上	73.9
田町下	98.3
新原東	105.5
新原西1	69.7
新原西2	112.8
水喰	666.7

(2) 太田地区

農家組合名	%
台矢幡1	82.8
ノ2	119.6
前塚	96.7
乙堀	112.9
渚	102.8
横須賀1	99.5
ノ2	109.7
太田	104.1
石神東	57.4
原1	102.2
原2	141.5
栗山1	86.1
ノ2	129.6

水田利用再編対策事業

実績報告書まとまる

目標達成率二〇一・三%



